

ゴクロウサンの汽笛を聞いた。

日本経済の動脈でもあるマラッカ海峡。
その安全を守る作業が日本と現地の協力で行われています。
馴れない食事。言葉の壁。揺れ動く浮橋での保守・点検は、
船酔い知らずの作業員でも酔うことがあるほど。
でも、側を通る巨大船がねぎらいの汽笛を鳴らして
くれた時など、「やってよかった」と思うそうです。



日本財団は、マラッカ海峡の安全を守るため、
インドネシア・マレーシア・シンガポールの沿岸
3ヵ国と協力。灯台や電波標識の設置、水路調査
などの活動を30年間にわたって支えています。



日本財団
The Nippon Foundation

(財)日本船舶振興会の通称です
<http://www.nippon-foundation.or.jp/>
モーターボート競走の収益金は、マラッカ海峡の安全航行にも役立てられています。

